

パブリック・コメント結果～朝霞市教育大綱(素案)

意見募集期間 令和3年6月1日(火)～6月30日(水)

意見提出者数 計2名

提出意見数 7件

番号	ページ	項目	意見	本市の考え	修正
1	2	学校教育 4. 学校を核とした 家庭・地域との連 携・協働の推進	○中学校の部活動と体育協会各団体と活動協 力が出来れば、部活動とは違い地域の大人達 と一緒にスポーツ活動を行い、その活動を通し て地域社会と連携が生まれ子供たちの成長を 卒業後も地域スポーツを続けて頂ければより長 く成長を見守って行けると思います。 また、体育協会との活動中には学校の顧問の 先生が休みを取る事も出来ると思います。	学校と体育協会等と連携して子どもたちを育むことは重要なことだと認識し ており、現在も小・中学校で外部指導者として体育協会等から授業や部活等 の指導をしていただいております。今後とも地域と連携・協働した活動を進め てまいりたいと考えております。	
2	3	スポーツ・レクリ エーション 1.スポーツ・レク レーション活動の 推進	朝霞市の生涯スポーツの一旦を担う体育協会 各団体も指導者の高齢化が問題となっております。 我々水泳部では水泳大会開催時に朝霞第一 中学校水泳部さんに運営協力をして頂いており ます。 選手とは別に運営に参加する事で何人かでも 体育協会水泳部に興味を持ち続けて頂きたいと 思っています。 若い世代に種を蒔き、一つでも芽が出ればと お手伝い頂いております。 また、お手伝い頂いた生徒さんにはボランティア 活動証明書も発行しています。	スポーツに関する団体等の指導者の高齢化につきましては、認識しており ます。教育委員会としましては、県等が実施している指導者養成研修等に関 する情報提供等を引き続き行うなどにより、指導者養成の機会の提供等の 周知に努めてまいります。	

番号	ページ	項目	意見	本市の考え	修正
3	3	スポーツ・レクリエーション 2. 利用しやすい施設の提供	○昨今のように総合体育館が改修工事、オリンピック、コロナ対策などで長期間使用出来ないこともあります。 このような時、補完出来る使いやすい施設が前もって有れば、使用する体育協会団体の活動がスムーズに行えると思います。 我々水泳部では夏休みの期間は昔からの朝霞第二中学校さんのプールをお借りして、練習や水泳大会の開催をしております。 使用許可は毎年申請し校長先生の裁量にて使用させて頂いております。 しかし、校長先生は任期が3、4年の為、校長先生が代わる度にいつも不安があります。 対策案としては 補完施設となる小中学校の施設を校長先生の裁量使用許可ではなく、前もって教育委員会さんの総意により使用許可を与える。(使用許可は年度を区切っても良いと思います) 何かあった時や毎年使用させて頂く時にも貸して頂ける前提条件があれば、校長先生が代わってもスムーズに施設使用が出来ると思います。 又、以前から思っておりますが、公共施設や、小中学校の体育施設の新設や改修工事の時にはその施設を使用する可能性がある団体にも意見やアドバイスが出来るので参加をお願い致します(和光市の体育協会水泳連盟さんは新設市民プール設計計画策定に参加しています)。 少子高齢化がこれからも進み、体育施設が出来れば最低50年以上は使用致します。その使用年数を考えれば、学校の使用施設としての使用だけではなく、生涯スポーツ・レクリエーション施設としても対応可能な施設作りが必要不可欠だと思います。 我々水泳部もコロナ禍中、朝霞スイミングさん廃業により日々の練習場所が無くなり、夏休み期間以外はわくわくドームにて一般者に混じっての練習となっております。 また、毎年初心者水泳教室を開催しておりましたが他の施設使用が出来ず、毎回2倍以上の応募があった喜ばれた教室が優秀な人材はいるのに場所がなく開催出来ない状況となり、新規入部者も激減しております。 初心者水泳教室開催場所だけでもご一考をお願い致します。	学校施設の使用許可は、学校教育の支障のない範囲で学校長が許可することと定められておりますので、引き続き学校と調整をお願いいたします。また、朝霞第四小学校、朝霞第五小学校及び朝霞第一中学校の改築では、検討委員会の中で体育協会等から御意見を伺う場を設けるとともに基本設計等のパブリック・コメントを行い、市民の皆様の御意見を伺っております。また、総合体育館の改修では施設利用者等に御意見を伺っております。今後も大規模な改修等がある場合には御意見を伺う方法を検討してまいります。	

番号	ページ	項目	意見	本市の考え	修正
4	2	学校教育 2. 確かな学力と自立する力の育成	○・・・社会の形成者 朝霞を担っていくものと変更を形成者としての位置付けのみでなく、「1. 朝霞の時代を担う人材の育成」に提示している通り	将来的に朝霞市に住み続けていただくのが、理想ではございますが、グローバル社会となっている今日、朝霞だけでなく世界で活躍することが想定されることから、原案のとおりとしますが、子どもたちが朝霞市に住み続けていただけるよう努めてまいります。	
5	2	学校教育 2. 確かな学力と自立する力の育成 3. 質の高い教育を支える教育環境の整備充実	○明確で市民にも分かり易いです。 具体的に提示されているので	今後も、市民に明確で分かりやすい文章を作成するよう努めてまいります。	
6	4	地域文化 3. 地域文化によるまちづくり	○・・・「彩夏祭」～どんぶり王選手権・・・などの固有事業名を入れることに限定される偏っている違和感を感じます。 これから5年間に次代を展望して新事業・行事が創出するかもしれません。 子どもを育成する視点に地域共生社会にふさわしい多様性と日常性を大切にする表現が必要だと思います。	記載しているイベントは、本市を代表する四季のイベントであり、その他様々な地域イベントを含め、市民が共有できる地域独自の文化として根付かせていくかが課題であると考えております。本市の代表的なものを記載して、参加を促し、多くの方が参加して、市民が共有できる地域独自の文化に繋がられればと考えています。 また、子どもの育成に多様性と日常性を大切にする視点をということにつきましては、この章では朝霞市の現状と課題について、記載しておりますが、御指摘の多様性と日常性についての視点は大切であると認識しておりますので、事業の中で推進していきたいと考えています。	
7	6	基本理念	○一人一人が輝き続けられる社会 一人一人が輝き続けられる地域共生社会と入れる方が良いのではないのでしょうか。	基本理念の中の「社会」は、「一人一人」の個が存在する場所として社会を置き、抽象的概念として「社会」という言葉を利用させていただいております。具体的に社会がどのような社会であるべきかを考えてた場合は、御指摘のような「地域共生社会」を目指していく必要があるものと考えております。	